

○生徒総会で扱われた「制服・校則の見直し」の検討会について報告する。

生徒総会の後半で行われたが、最初に、推進委員のメンバーが今までの経緯と校則見直し案を提案。その後、質疑応答となったが、質問したのは、3年生のAさんだけだった。

Aさん:「男子の頭髪規定について」「眉毛にかからないなど」の規定があったが、それは、「学校生活に支障をきたさなければ、長髪でもいいのか?」

この回答として、生徒会長から「自らの適切な判断が大切だと思います。学校生活に支障をきたさないように適切に考えて判断してもらいたいと思います」

その後、質問はなく、感想を聞いていった。

Bさん(2年):「中学生らしい」など抽象的な表現が多い校則が、分かりやすい校則になったと思います。この校則であれば、はじめての人でも分かりやすいと思いました。また、プロジェクトが行ってきた校則の見直しは大変いい取り組みだったと思います。」

Cさん(3年):「私が中学校に入学した時、中学校の校則に生きづらさを感じました。しかし、今回の校則の見直しを通して、それを解消するように校則が改正されました。これからは、この校則を守りながら、みんなでいい学校を作っていけるといいなと感じました。」

Dさん(1年):「中学校に入学した時に、中学校の校則については違和感を感じました。ただ、その校則について、今回、見直しをし、自分でも納得できる校則になったことは大変良かったと思います。ただ、これから大切なことは、生徒一人一人が適切に選択する判断力を持つていくことだと感じました。」

以上、それぞれの生徒が、今回の「校則の見直し」でねらいとしているところを、理解し、自分の言葉で表現してくれたことは大変良かったと思います。

ただ、その他の生徒についても、是非、自分事としてこのことについての自分の意見を持たせる機会を持っていただけると感じました。

次回、10月14日の生徒集会の時には、ワークショップにして、それぞれ、今回の校則の見直しについての感想を語ってもらい、何か、今回の案で気づいたり、意見として出してもいいかなと思ったことを自由に出していってくれるといいと思います。